

平成 24 年度国立情報学研究所実務研修報告書

平成 25 年 3 月 31 日

大阪大学附属図書館学術情報整備室学術情報組織化班

塩出 郁

目次

- 1 研修目的
- 2 研修先および研修期間
- 3 研修内容
 3. 1 研修スケジュール概要
 3. 2 研修日程
 3. 3 研修内容
- 4 研修成果
- 5 受入体制・研修環境
- 6 研修を終えて
- 7 添付資料

1 研修目的

国立情報学研究所（NII）が大学と共同で推進する電子リソース管理データベース（ERDB）プロトタイプ構築プロジェクトに参加し、ERDB の利用者サービスへの活用について調査・検討する。また、JUSTICE 事務局において出版社との交渉等のコンソーシアム業務を経験することを通じて、電子リソースに関する理解を深めることを目的とする。

2 研修先および研修期間

研修先：国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課

および学術基盤推進部 図書館連携・協力室

研修期間：平成 24 年 8 月 1 日（水）～平成 25 年 3 月 31 日（日）

3 研修内容

3. 1 研修スケジュール概要

平成 24 年 8 月

- ・学術コンテンツ課および JUSTICE 事務局の事業・業務を理解する。
- ・ERDB の運用に向け、プロジェクト参加機関の EJ 管理業務フローをまとめる。

平成 24 年 9 月

- ・ERDB プロジェクト中間報告会に向け、必要な資料を作成する。

- ・ JUSTICE 版元提案説明会の運営補助を行う。

平成 24 年 10 月

- ・ 研修テーマ，成果物を決定する。
- ・ ERDB の共通業務フローおよびスキーマ検討会に参加する。

平成 24 年 11 月

- ・ ID データベースの構築を検討する。
- ・ JUSTICE 向け提案書の項目を ERDB に取り込むためのマッピング案を作成する。

平成 24 年 12 月

- ・ ID データベースに投入する国内データソースを調査する。
- ・ ERDB プロジェクト最終報告会に向け，必要な資料を作成する。

平成 25 年 1 月

- ・ ID データベースを構築し，今後の課題を挙げる。
- ・ 海外の電子リソース管理プロジェクト関係者へのインタビュー項目を整理する。

平成 25 年 2 月

- ・ イギリスへ出張し，海外における電子リソース管理の現状を把握する。
- ・ ISSN のないデータの傾向を確認する。

平成 25 年 3 月

- ・ 実務研修成果報告会に向け，発表資料を作成する。
- ・ 実務研修報告書を作成する。

3. 2 研修日程

- | | |
|-------|--|
| 第 1 週 | 実務研修開講式，諸手続き，CAT/ILL 事業概要説明，ERDB 概要説明，ERDB 打合せ，丸善セミナー参加 |
| 第 2 週 | CAT/ILL 打合せ，JUSTICE 概要説明，セミナーメモ作成，CiNii 概要説明，ERDB 打合せ，出版社交渉 3 件 |
| 第 3 週 | 夏季一斉休業（2 日），EJ 管理業務フローまとめ，ERDB 打合せ，出版社交渉メモ作成 |
| 第 4 週 | 出版社交渉 2 件，出版社交渉メモ作成，学術ポータル担当者研修聴講，ERDB 打合せ，EJ 管理業務フローまとめ |
| 第 5 週 | 夏季休暇（2 日），EJ 管理業務モデルケース作成，ERDB 打合せ，ERDB 業務シナリオまとめ |
| 第 6 週 | 夏季休暇（1 日），NII 千葉分館見学，ERDB 業務シナリオまとめ，出版社交渉 1 件，ERDB 打合せ，JUSTICE 版元提案説明会準備 |

- 第7週 出版社交渉2件、CLOCKSS 事務局長と出版社とのミーティング、JUSTICE 版元提案説明会（東京、兵庫）
- 第8週 CLOCKSS ミーティング議事録作成、ERDB 年度更新フロー作成、図書館総合展 ERDB パネル案作成、JUSTICE 版元提案説明会アンケート集計、ERDB 打合せ
- 第9週 出版社交渉1件、NII および大学図書館の意見交換会（広島大）、ERDB プロジェクト中間報告会、JUSTICE ミーティング（東京大）
- 第10週 ERDB プロジェクト中間報告会議事録作成、出版社交渉1件、ERDB 打合せ、CiNii 担当打合せ
- 第11週 NDL 打合せ、SCOAP³ タスクフォース、ERDB 共通スキーマ検討会
- 第12週 ERDB 共通スキーマ検討会議事録作成、CiNii 担当打合せ、ERDB 打合せ、図書館総合展 ERDB パネル修正、JUSTICE 説明資料作成
- 第13週 実務研修課題検討、実務研修打合せ、出版社交渉2件、ERDB 打合せ、CiNii 担当打合せ、STPI ミーティング、OCLC ミーティング、SPARC Japan セミナー参加
- 第14週 JUSTICE 運営委員会、ERDB 共通業務フロー検討会、出版社交渉1件、情報セキュリティ研修受講、CiNii-ELS 収録データ調査
- 第15週 出版社交渉3件、JUSTICE 提案要約マッピング、ERDB 打合せ
- 第16週 SCOAP³ タスクフォース、ID データベースのデータソース調査、ERDB 打合せ、出版社交渉1件
- 第17週 図書館総合展（NII ブース担当、フォーラム参加）
- 第18週 東工大図書館見学、ID データベース検討、ID データベース打合せ、JUSTICE 次年度参加回答集計
- 第19週 JUSTICE 次年度参加回答督促、SPARC Japan セミナー参加、出版社交渉1件（筑波大）、ID データベース検討
- 第20週 JUSTICE・ERDB 打合せ、JUSTICE 提案要約マッピング、ERDB 打合せ、実務研修生懇談、ID データベース打合せ、IR 事業概要説明
- 第21週 出版社交渉2件、コンテンツ事業戦略会議、HathiTrust 意見交換会、ERDB プロジェクト最終報告会、ERDB 打合せ
- 第22週 ERDB プロジェクト最終報告会議事録作成、ERDB 打合せ、CiNii-ELS データの ID 調査
- 第23週 LOD 勉強会、JUSTICE2013 年度会員館リスト作成、出版社交渉1件、SCOAP³ タスクフォース、イギリス出張準備、ERDB 打合せ
- 第24週 ID データベース打合せ、ERDB 機関情報マッピング、ERDB 打合せ、イギリス出張準備、ID データソース更新、出版社交渉1件
- 第25週 JUSTICE 運営委員会（早大）、イギリス出張準備、出版社交渉1件、ERDB プレゼン資料作成、ERDB 打合せ、一橋講堂下見
- 第26週 ERDB 打合せ、JUSTICE 設立準備総会出欠回答集計、出版社交渉1件、ID データベース打合せ、ERDB プレゼン資料作成
- 第27週 イギリス出張（会議出席、インタビュー）

第 28 週	イギリス出張報告書作成, ERDB 打合せ, ID データベース打合せ, ID データベースデモサイト確認, ID のないデータ調査
第 29 週	SPARC Japan セミナー参加, JUSTICE 設立準備総会, 出版社交渉 2 件, ID のないデータ調査, ERDB 打合せ
第 30 週	ERDB 打合せ, 出版社交渉 1 件, 実務研修成果報告会資料作成
第 31 週	実務研修成果報告会資料作成, 出版社交渉 1 件
第 32 週	実務研修成果報告会資料作成, ERDB 打合せ, 実務研修成果報告会, JUSTICE 運営委員会
第 33 週	実務研修成果報告会資料修正, 実務研修報告書作成, 出版社交渉 4 件, ERDB 打合せ, 実務研修パンフレット案作成, JUSTICE サイト更新, ID データベース打合せ
第 34 週	JUSTICE サイト更新, 実務研修報告書作成, ERDB 打合せ, 実務研修修了式

3. 3 研修内容

- ・ ERDB プロトタイプ構築プロジェクトへの参加
- ・ 電子リソース管理に関する会議出席・インタビュー（イギリス）
- ・ 出版社との打合せ・交渉への参加と記録
- ・ JUSTICE 関連行事の運営と参加
- ・ ID データベースの構築検討

4 研修成果

● ERDB プロトタイプ構築プロジェクトへの参加

ERDB プロトタイプ構築プロジェクトでは、ほぼ全ての業務に関わった。今年度のプロジェクトに参加した 12 機関・大学や JUSTICE 事務局とも意見交換を行い、協同して個々の課題に取り組んだ。ERDB を利用した業務フローを検討するため、プロジェクト参加機関における電子リソース管理業務の現状を把握し、それをもとに 1 年間の業務モデルを作成した。また JUSTICE 向けの電子リソース提案書の項目を ERDB に取り込むため、マッピング案を作成した。プロトタイプの開発打合せにも毎会同席し、プロジェクトの進め方や連絡・調整方法についても学ぶことができた。

● 電子リソース管理に関する会議出席・インタビュー（イギリス）

ERDB プロトタイプ構築プロジェクトの一環として、他国におけるナレッジベース構築の状況や電子リソース管理体制を参考とするためイギリスへ出張し、JISC Collections 主催の国際会議に出席した。会議には欧米を中心とした 7 カ国・地域からの参加があり、各国における電子リソース管理の最新動向を知ることができた。

さらに JISC Collections が推進している KB+プロジェクト、アメリカで推進されている GOKb プロジェクトの関係者にインタビューを行い、両プロジェクトのデータ構築方法

や今後の展望などを把握した。ERDB のデータ構造や他国のプロジェクトとの連携についての意見交換も行い、プロジェクトメンバーに報告した。

● 出版社との打合せ・交渉への参加と記録

JUSTICE 事務局では出版社との打合せ・交渉に毎会同席した。研修期間中に計 32 回の打合せ・交渉があり、打合せメモや議事録の作成等を通じて電子資料契約について一から学び、交渉業務についても理解を深めることができた。また、海外のコンソーシアムや団体との情報交換の場にも同席したことで、各国の状況を把握し、日本の状況を照らし合わせて考えることができた。

● JUSTICE 関連行事の運営と参加

9 月には JUSTICE 向けに提案され合意に達した提案書について、出版社が参加館に直接説明する版元提案説明会を東京と兵庫で開催し、2 月には新年度以降の新組織への移行に向けた設立準備総会を開催した。JUSTICE には国公私立の約 500 大学が参加しており、このようなイベントの企画・運営や参加館の対応等、コンソーシアムの事務局としてのさまざまな業務を経験することを通じて、所属大学以外の現状や課題を知ることができた。

● ID データベースの構築検討

実務研修テーマとした「電子情報資源を含む学術情報発見システム構築に向けた調査・検討」においては、ERDB を図書館員だけが利用するのではなく、利用者へのサービスにどのように活かすことが可能かを考え、主に国内の紙媒体雑誌の情報と電子媒体雑誌の情報を繋げる方法を考えた。そのためには書誌を識別してまとめる仕組みが必要であると考え、書誌が持つ ID 同士の関係を把握するための ID データベースの構築を検討した。あわせて CiNii Books と ERDB とのデモ環境を構築し、CiNii Books において利用者の所属に応じ、紙媒体の書誌に対応した電子リソースの情報を同時に表示できるようにした。さらに、ID を持たない書誌にはどのようなものがあるか傾向を確認し、今後の課題を挙げた。

5 受入体制・研修環境

- ・ NII から徒歩圏内にマンスリーマンションを用意していただき、通勤に困ることはなかった。
- ・ 研修参加以前において、研修内容や受入体制に関する連絡は必ずしも十分とは言えず、実務研修に関して積極的に各大学に周知する必要性、また受入先と派遣元とで事前に入念な打合せを行う必要があると思われる。

6 研修を終えて

8 ヶ月という長い期間 NII に身を置くことにより、大学図書館の業務だけでは得ることのできない非常に貴重な経験ができた。学術コンテンツ課と図書館連携・協力室の両方に籍を置いての研修だったため膨大な量の情報に毎日触れ、今まで業務経験のなかった電子

資料の契約と管理についての基礎的な知識を吸収することができた。また、研修を通じて他大学や他国の状況を垣間見たことで、所属大学や日本の状況について改めて考えることも多かった。今回の研修で得た知識や経験を、今後の業務にも積極的に活用したいと思っている。

7 添付資料

- ・平成 24 年度国立情報学研究所実務研修報告
（実務研修生発表会平成 25 年 3 月 14 日（木）発表資料）